

01 福祉用具専門相談員指定講習会を開催しました!!

▶2022年3月1日~3月11日(うち7日間)

福祉用具専門相談員とは、日常生活で福祉用具を使用する人に対して、選び方と使い方を説明するなどのアドバイスを行う専門職のことで、介護保険法に基づく指定を受けた福祉用具貸与・販売事業所では、常勤で最低でも2名以上の配置が義務づけられています。この資格取得のための講習会を神奈川工科大学で特定非営利活動法人日本アビリティーズ協会と協働して実施しました。44名の参加学生全員が「福祉用具専門相談員」の資格を取得できました。



02 「気楽に学べる市民公開20の講座」を公開しました

▶2022年3月

108人の受講者がオンデマンドで受講されました。SDGsや災害ケア、環境問題等の講座の視聴が多く、社会問題への関心の高さが窺えました。2022年度の秋頃の公開を目指して準備中です。



03 令和3年度私立大学等改革総合支援事業タイプ3(地域貢献)が昨年に続き採択されました

▶2022年3月

04 SDGsHUBによる災害時備蓄食糧の試食会が行われました

▶2022年4月21日

神奈川工科大学の実際に災害に備えて備蓄されている食糧(賞味期限が近付いているものを提供していただきました)やメーカーからの試供品をお湯で調理したものを、水で戻したものを、2パターンで試食しました。備蓄食糧のイメージを変える充実した品揃でした。



05 「ともに生きる社会かながわ憲章」第1回が開催されました

▶2022年5月10日

神奈川県共生推進本部の「ともに生きる社会かながわ憲章」の普及啓発の取組、大学連携の第1回が開催されました。三枝研究室が担います。



06 厚木市委託事業フレイル予防教室「今から始める健幸への道」開始しました

▶2022年5月20日

健康福祉支援開発センターが厚木市委託事業フレイル予防教室「今から始める健幸への道」開始しました。



07 厚木市との神奈川工科大学の教育に関する意見交換会が開催されました

▶2022年6月15日

厚木市との神奈川工科大学の教育に関する意見交換会が行われました。長年、厚木市との連携を強化してきた神奈川工科大学について、今後の大学の学部・大学院の教育課程をよりよいものに編成していくため、自治体からみた当大学への期待、要望、改革して欲しいこと等を伺いました。

08 聞こえ相談ルーム7月開設

▶2022年7月後半より開設

普段、テレビや電話の声、人とも会話の聞こえにくくなっていると感じることはありませんか? 環境改善や聞こえの支援、簡単な工夫などを提案します。



音響工学の研究室が相談に乗ります

編集後記

季節の変わり目。1964年(私の誕生年)以来最速の梅雨入りと、統計開始以来最も早い梅雨明け。体調管理の大切さが問われる今日この頃です。「まずは健康、誠実、努力」、初代理事長が高専生徒に向けて発していた言葉だそうです。

心身の健康を最優先に、余暇、学業、仕事にお励みください。 関口 幸三

あいさつ

地域連携・貢献センター長
小川 喜道

コロナ禍において、人と人とのかわりも希薄になりがちなか、最近では、学生の皆さんが新たなつながりを主体的に求めて活動する動きも生まれております。本号のトピックスの中にもそのようなパワーを感じさせてくれるものが含まれています。当センターの名称にある「地域」「連携」「貢献」という言葉の大切さをあらためて強く感じております。

地球上で繰り返されてきた疫病、自然災害の下でも強く生き抜いてき

た人類が、今こそ、知力を活用しながら、私たちがもつ生命力を発揮すべき時にあると思います。今を生きる私たちが、未来を夢見ながら生きていけるような社会を創造していくために大学の存在価値が問われていると思います。国連が唱えている、SDGsは「誰一人取り残さない」(leave no one behind)とは、まさにそうした“地球”を求めていると思います。これは誰もが相手を思いやり、助け合い、それぞれの求める人生を送ることができる状態を作り出すことであり、そこに大学がどう貢献できるか、との問いかけでもあると認識しています。あらためて、今年も地域への貢献に向けて微力ながら努めていきたいと思います。

2021年度のまとめ

開設2年目事業として、広報活動と3つの公開講座の開催を実施しました。相談実績は64件(前年度は24件)で、前年比2.6倍でした。また、地域連携災害ケア研究センターの管理室として、ホームページの開設や関係機関との連携強化に努めました。詳細は次ページをご覧ください。

2022年度の事業計画

2022年度は、2021年度事業を基に、深く広く展開することを目指します。防災・災害ケア関係のシンポジウムや講座の開催や市民公開講座を継続します。

- ① 広報活動
- ② 地域連携災害ケア研究
- ③ 人材育成
- ④ 神奈川県及び県央地区自治体等との連携
- ⑤ 地域課題への参画

重点項目

「学生と地域の方々が歩きながら一緒に楽しく学び合う」「スマホを持って“あつぎ”を歩こう」を実施

地域連携・貢献センター事業紹介



企画・発案
基礎・教養教育センター准教授
高嶋 渉

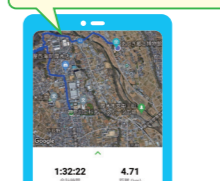
「学生と地域の方々が歩きながら一緒に楽しく学び合う」をテーマとした取り組みの第一弾として、高嶋渉准教授(基礎・教養教育センター)をリーダーに2022年6月11日に「スマホを持って“あつぎ”を歩こう」を実施しました。5名の学生が12名の地域の方(60~79歳)のGPS地図アプリの設定をお手伝いしました。フレイルや熱中症予防の説明の後、参加者と学生が“あつぎ”のことやいろいろなことを話しながら、いくつかのポイントを歩いて巡りました。途中、常昌院ではご住職さまのお話とお茶の接待をいただき、楽しいひと時を過ごしました。参加者からは「楽しかった」「また参加したい」との声が寄せられています。

学生がわかりやすくアプリのインストールを手伝う

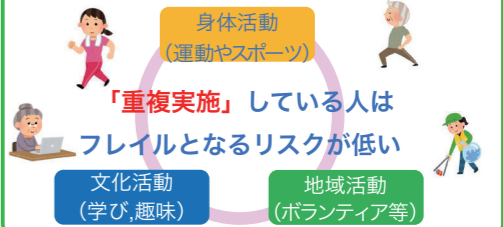


高齢の参加者と学生と一緒にウォーキング

終了後にみんなで振り返り、家庭での団らんに...



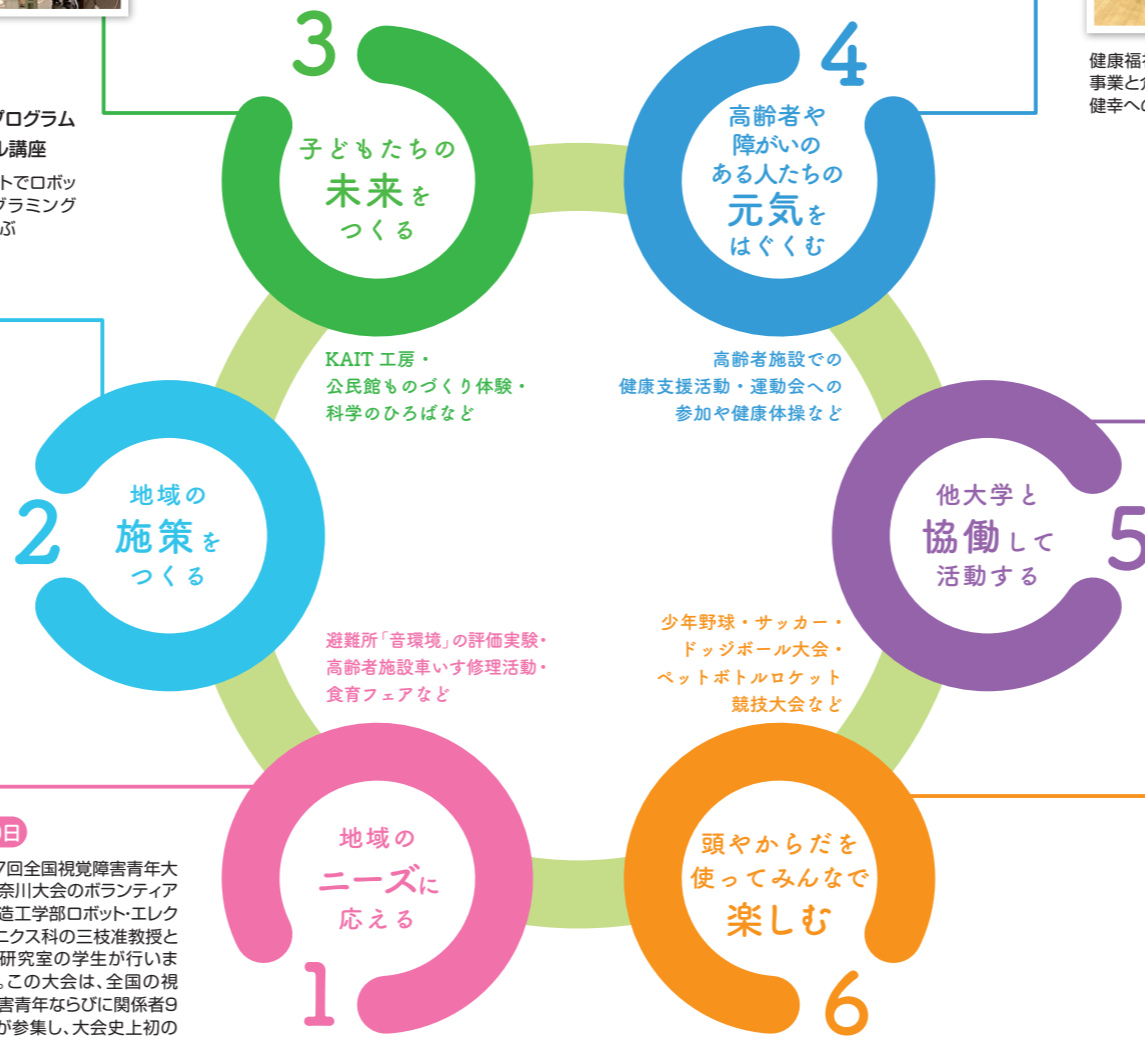
背景 フレイル予防には様々な活動を組み合わせることが重要



CONTENTS

- ▶ ご挨拶 P1
- ▶ 2021年度の振り返り P1
- ▶ センター事業紹介 P1
- ▶ 活動のあれこれ P2-3
- ▶ TOPICS P4

2021年度 神奈川工科大学 地域連携・貢献センターの活動



KAIT未来塾



- 学校給食センター運営委員会
- 下水道運営審議会
- 環境審議会
- 難病対策地域協議会
- 地域食生活対策推進協議会
- 栄養・食生活ネットワーク会議
- 環境安全管理協議会
- 小児慢性特定疾病連絡会
- 障害者施策審議会
- 手話言語普及推進協議会
- JHAT日本災害時透析医療協働支援チーム
- 在宅医療推進協議会訪問看護部会

KAIT SDGsHUB



おもしろ理科教室

中津川水質調査
水源環境保全地域において、小学生・保護者に対して水源環境の現状について、関心を高めるため、どのようにすれば川は汚れないか、きれいな川にできるか、川に生息している生き物を、子どもたちの目で体験の学びの指導を行います。



ロボットプログラム
スペシャル講座
レゴロボットでロボットプログラミングを楽しく学ぶ



厚木市フレイル予防体操教室



健康福祉支援開発センターとの協働で、令和3年度厚木市高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業のフレイル予防教室「今から始める健康への道」を実施しました。

e-スポーツ



eスポーツは近年協議としても国際的な高まりを見せていますが、一方で高齢者の健康増進などにも活用されています。大学の先進eスポーツ研究センターも地域とのつながりをもった活動を進めていきます。

災害対策



2022年8月4日
災害ケアシンポジウムポスター



2022年9月7日
防災・災害ケア基礎講座ポスター



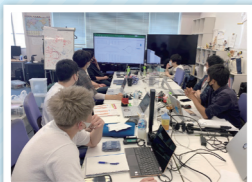
フレイル予防体操教室
厚木市からの委託事業として8月～3月まで実施



厚木市防災行政放送の聞こえ調査

IT技術支援

高尾ゼミ 2021年4月1日



視覚障害があっても子育てを一般の人たちと同じようにしたい、子供の成長を記録していきたいと考えている視覚障害者の声に応えるために制作された「わが子の成長記録ハンドブック」(NPO法人神奈川県障害者福祉協会制作)の作成支援を創造工学部ロボットメカトロニクス科の高尾研究室の学生が行いました。
<http://www.npo-kanagawa.org/wagakonoseityoukikroku.html>

三枝ゼミ 2021年9月19-20日



第67回全国視覚障害者青年大会神奈川大会のボランティアを創造工学部ロボットエレクトロニクス科の三枝准教授と三枝研究室の学生が行いました。この大会は、全国の視覚障害者青年ならびに関係者96名が参集し、大会史上初のオンライン会議となりました。

厚木市大学連携・協働協議会

- 厚木市
- 神奈川工科大学
- 東京農業大学
- 東京工芸大学
- 松蔭大学
- 湘北短期大学

厚木市と市内5大学(神奈川工科大学・松蔭大学・湘北短期大学・東京工芸大学・東京農業大学)が連携して「あつぎ協働大学」を9月からオンライン講座として開講しました。

包括連携協定

- 久留米工業大学
- 新潟工科大学
- 青森大学
- 北里大学



気楽に学べる市民公開講座

神奈川工科大学では、教育、研究においてSDGs(持続可能な開発目標)に基づき、とりわけ、「誰一人取り残さない」という基本に立ち、地域とのつながりを大切にしています。そこで、市民の皆さんの知的好奇心とお役立ち情報をわかりやすくお届けしました。

2022年3月
気楽に学べる市民公開講座ポスター

